

No.25-44

2025 年 7 月 8 日

エーザイ株式会社

**CDP から「サプライヤー・エンゲージメント評価」において
最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定**

エーザイ株式会社（本社：東京都、代表執行役 CEO：内藤晴夫）は、このたび、国際的な環境非営利団体 CDP¹ より「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されましたのでお知らせします。



CDP による「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するものです。CDP の気候変動質問書における「ガバナンス」「目標」「スコープ 3 排出量²」「バリューチェーンエンゲージメント」の回答について、当社のサプライヤーへの働きかけが高く評価され、このたびの選定となりました。

当社は、サプライチェーンの全体にわたり環境に配慮したビジネス活動を行うために、当社の環境保全に関する要求事項を明記した「ビジネス・パートナーのための行動指針³」の遵守をお取引先へお願いするとともに、お取引先のサステナビリティ評価の実施と評価結果のフィードバックを通してサプライヤーとの連携を強化しています。

当社は、「地球環境に配慮した事業活動」を社のマテリアリティ（重要課題）の 1 つとして特定しています。[「エーザイネットワーク企業環境方針」](#)に基づき、グループ全体の環境重点活動として、気候変動対応を推進しています。脱炭素社会の実現に向けて、2023 年度には「Science Based Targets (SBT) イニシアティブ」より SBT1.5°C 目標の承認を取得し、2050 年のネットゼロ達成を呼び掛ける JCI Race to Zero Circle にも参加して取り組みを進めています⁴。

当社の環境への取り組みについては[コーポレートサイト](#)をご参照ください。

当社の企業理念（hhc）の実現には地球環境の保全が不可欠であり、気候変動への取り組みを通じて、人々の「生ききる」を支えることに貢献してまいります。

以上

1. 英国に本部を置く非営利団体。世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営。

2. 企業のバリューチェーン全体における間接的な温室効果ガス排出量。

3. 詳細は[こちら](#)をご覧ください。

4. 詳細はニュースリリース「2050 年ネットゼロ達成に向けた温室効果ガス削減への取り組みの強化」(<https://www.eisai.co.jp/news/2024/news202412.html>)をご覧ください。